



会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 入退院調整部会	
開催日時	平成29年11月9日(木) 開会； 19時30分・閉会； 20時15分	
開催場所	行田市産業文化会館 第2会議室	
出席者(委員)氏名	西川瑞穂、新井孝幸、池畑信正、清水泰治、池畑利宏、江田久子、桜井徹也、今村寿子、青木 隆、武藤直輝、仲上由佳、渡辺直子、野口清美、栗原幸江、川島 治、溝上俊亮	
欠席者(委員)氏名	植山直人、高橋 梓、松本直樹、青山真弓	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	在宅療養高齢者における、入院時及び退院時の調整ルール及び行田統一様式について	
会議資料	(資料名・概要等)	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名押印	
29年12月7日	西川 瑞穂  新井 孝幸 	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
新井委員	<p>開会</p> <p>今回より新メンバーとして、松本委員、栗原委員が加わる。</p> <p>（栗原委員 自己紹介）</p> <p>本日、植山委員、高橋委員、青山委員、松本委員は欠席。 前回各団体から問題点を出してもらった。熊谷や他の入退院の様式を渡したが、行田独自で作成するか決めたい。</p>
清水委員	<p>各市町村のホームページを見た。太田市が公的に出しているものを真似て作成してもいいのではないか。検診もそうだが統一した方がよい。今日はある程度書式がでてくるものと思っていた。歩みが遅いと思っている。</p>
川島会長	<p>一から作り出す事が大変なのはごもっとも。今集めているものの中でどれがいいかネットでご意見頂き、ひな形を作った上で披露すると進みが早いのかなと思う。</p>
西川委員	<p>前回は、在宅高齢者の入退院に対し、困っているかどうか聞いたのみで終了した。まずは、作る作らないを決めてから話を進める。</p>
清水委員	<p>基本的に医療は必要。何もわからない状態では、患者さんに触れない。</p>
西川委員	<p>診療情報提供書というものではなく？</p>
清水委員	<p>そうですね。</p>

新井委員	<p>他市等を参考に、作るか作らないか決をとります。</p> <p>全員挙手</p>
西川委員	<p>欠席者にも決をとるが、多数決だと作るという事になる。</p> <p>部会の意見を入れてひな形を作り、出来上がったとして、その後、退院時に使うものだと思うが、そのシステムをどう普及活用してもらうか？特に病院から出るものと考えてるが、普及方法を考えたい。</p>
川島会長	<p>基本的に病院2つと石井先生の診療所で退院がある。そこは病院や医師会に任せて欲しい。在宅の方でこれは必要というものを上げ、組み立ててもらえると有難い。医療側も意見させていただく。</p>
西川委員	<p>病院にお聞きしたいが、看護師が主にこれを作る事になるのか？</p>
仲上委員	<p>循環器呼吸器医療センターの参考2と3の様な書式にして頂くとよい。介護支援連携指導の方法にも沿っている。電子カルテに入れて印刷する事もできる。</p>
渡辺委員	<p>中央病院は電子カルテではない。介護支援連携等独自で作ったもので行なっている。統一した書式があるとよい。看護師だけでなく、他の職種とも共同して作らないとならない。手間がかかる。書式が決まったとしても、どうやっていけばよいかまだ分からない。</p>
桜井委員	<p>どの位のボリュームのものをイメージしているのか自分の中でピンと来ない。各職種間でほしいものが違う。そこを別々で作成するのか、それぞれの職種で纏めて作るか。それぞれ別々で作って</p>

	<p>しまうと内容が重なり効率が悪い。</p>
西川委員	<p>仕事が増えると使わなくなるので、そうならないようにしたい。 病院側で、この業務だけで済むというようなものになるのか？</p>
仲上委員	<p>看護サマリーは別に作る事になる。</p>
渡辺委員	<p>今までのものは、それはそれで必要で、なおかつ共同のものがでてくる。業務が増えるので簡潔にチェック方式だったら負担にはならない。退院時、全患者となると大変。</p>
川島委員	<p>プロセスがあって採用されている。実際に始まっている所の情報を参考に、片寄りのないよう必要な情報を入れる。これだけは入れてほしいというような項目を入れる。ひな形を見ながら進められるとよい。</p>
野口委員	<p>太田市のものを見てどんなふう感じたか？</p>
清水委員	<p>よくできている。太田市の了承が必要かと思う。行政で許可を取ってもらいたい。</p>
西川委員	<p>ひな形が出来てからでないと。</p>
池畑委員	<p>本当に簡単なひな形を作って必要な情報を足していく。</p>
西川委員	<p>今日欠席のPTの高橋委員は施設内で話し合いをしてくれた様である。部会で一度意見を聞いた方がよい。ひな形を作り、メールで流し部会で話す。集まって話すかメールで済ますかというところ。今の話は退院の話だが入院も考えないといけない。</p>

清水委員	太田市のホームページに入院もでている。
池畑委員	入退院セットで考えないといけない。退院しても、入院する可能性もある。
清水委員	気になるのは、高次医療機関のがんセンターや、群馬の病院へ入院する方もいる。近隣の情報も集めて作成する必要がある。
西川委員	ケアマネも入院の際は情報提供する。行田市のケアマネ連絡会で様式を作成している。 サービスが始まっている方には、病院に出す時ケアマネが出すのかなど。訪問看護もサマリーだしているか？
江田委員	はい。ケアマネに口頭で伝えたり、書類がケアマネから届いたら出しているので、ケアマネから病院の方へ情報を持って行くと思う。
西川委員	HPの入院の情報も見てから決めるか？ 行田ケアマネ連絡会で決めた様式は、病院側の意見は何も聞かずにケアマネ側の情報の様式を作った。病院側が他にどんな情報が欲しいのか？と思ったが、ひとつあるという事なので、見てからの方がよいと思う。市民の為のものではあるが、業務の負担にならないものにしたい。協議会と市で相談しメールで連絡する。
新井委員	次回の開催について。12月の第2週は出られない方が多い。第1週の木曜でよいか？ひな形が出来上がるか未定だが。
川島会長	頑張りましょう。

西川委員	12月7日までの間に、皆さん各職種の連絡会はあるか？
溝上委員	デイはない。
川島会長	<p>まず、次回の部会までにひな形を用意して、各委員に流して、皆さんの意見を伺うという事でよいのでは。今度の各団体の集まりの時までにひな形があれば。それまでに、メールで皆さんに意見が聞けるレベルにしておけばよい。</p> <p>一回で纏めるのは難しいと思う。</p>
新井委員	協議会と市の方でなるべくはやくひな形を作り、各委員へメールをするという事で。
川島会長	情報提供在宅医学会。各職種在宅医療に関する勉強が様々な職種で出来る。この協議会からも演題を市の方も出し、その他いくつか出す予定。皆さん宜しければご参加願います。
新井委員	<p>本日は遅くまで有難うございました。</p> <p>閉会</p>